

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月10日

【四半期会計期間】 第46期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 株式会社テーオーシー

【英訳名】 TOC Co. , Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 大谷 卓 男

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田七丁目22番17号

【電話番号】 03(3494)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役事務管理部門担当 羽 廣 元 和

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田七丁目22番17号

【電話番号】 03(3494)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役事務管理部門担当 羽 廣 元 和

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第45期 第3四半期 連結累計期間 | 第46期 第3四半期 連結累計期間 | 第45期 |
|------------------------------|-------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日 | 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 |
| 売上高 | (百万円) | 16,576 | 16,055 | 21,864 |
| 経常利益 | (百万円) | 4,180 | 4,144 | 4,873 |
| 四半期(当期)純利益 | (百万円) | 1,714 | 1,593 | 2,083 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (百万円) | 2,596 | 3,354 | 3,033 |
| 純資産額 | (百万円) | 63,100 | 65,692 | 63,526 |
| 総資産額 | (百万円) | 140,114 | 137,946 | 139,997 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 13.91 | 12.94 | 16.90 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 44.7 | 47.3 | 45.0 |

| 回次 | | 第45期 第3四半期 連結会計期間 | 第46期 第3四半期 連結会計期間 |
|---------------|-----|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 6.90 | 5.44 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第45期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、耐震性などに優れたオフィスのニーズが高くなったものの、相次ぐ新築ビルの供給と企業のコスト重視の要因により、依然として賃料相場は弱含み傾向が続いております。また、商業ビルにおきましては、復興需要等の下支えもあり個人消費は持ち直してまいりましたが、不安定な経済環境が続くことが想定され、依然として商業施設の運営においては厳しい事業環境となっております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,055百万円(前年同四半期比3.1%減)となり、経常利益は4,144百万円(前年同四半期比0.9%減)、四半期純利益は1,593百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、保有ビルの入居率が、第2四半期には若干改善傾向にありましたが、第3四半期末では大型テナントの解約等により低下しました。また、賃料水準の低下等の影響から、売上高は13,101百万円(前年同四半期比2.7%減)となり、営業利益は4,801百万円(前年同四半期比5.8%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業では、大口顧客先であるホテルの大震災・原発問題等による大幅な稼働率減少等の影響を受けて売上高は1,074百万円(前年同四半期比11.3%減)となり、営業利益は45百万円(前年同四半期比58.4%減)となりました。

その他では、スポーツクラブ及び温浴施設事業におきまして、前第1四半期に横浜市桜木町に開業した「みなとみらいフィットネスクラブ MM Begin」の会員数の増加に伴い売上高が増えましたが、ビル管理関連サービス事業におきまして、「TOCみなとみらい」関連の請負工事が大幅に減少したこと等により、その他の売上高は1,878百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。利益面では、上記フィットネスクラブが改善し、電子商取引事業などコストの削減に努めた結果、営業損失は120百万円(前年同四半期は371百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,051百万円減少し137,946百万円となりました。主に、有形固定資産が減価償却等により2,187百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,218百万円減少し72,253百万円となりました。主な増減は、固定負債の繰延税金負債が718百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が2,947百万円、未払法人税等が594百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,166百万円増加し65,692百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金1,774百万円及び四半期純利益1,593百万円であり、主な減少は、剰余金の配当1,108百万円によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の45.0%から当第3四半期連結会計期間末は47.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 従業員の状況

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 547,517,000 |
| 計 | 547,517,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成24年2月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|---------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 136,879,352 | 同左 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は100株であり ます。 |
| 計 | 136,879,352 | 同左 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成23年10月1日～ 平成23年12月31日 | | 136,879,352 | | 11,768 | | 9,326 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 13,838,500 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 122,940,900 | 1,229,409 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 99,952 | | |
| 発行済株式総数 | 136,879,352 | | |
| 総株主の議決権 | | 1,229,409 | |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式69株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社テーオーシー | 東京都品川区西五反田 7丁目22-17 | 13,838,500 | | 13,838,500 | 10.10 |
| 計 | | 13,838,500 | | 13,838,500 | 10.10 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,820 | 8,585 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 942 | 1,297 |
| 商品及び製品 | 30 | 27 |
| 仕掛品 | 19 | 14 |
| 原材料及び貯蔵品 | 188 | 207 |
| 繰延税金資産 | 481 | 411 |
| その他 | 319 | 360 |
| 貸倒引当金 | 34 | 39 |
| 流動資産合計 | 10,766 | 10,863 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 63,784 | 61,585 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 150 | 126 |
| 土地 | 44,095 | 44,149 |
| その他（純額） | 219 | 201 |
| 有形固定資産合計 | 108,249 | 106,062 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 6,966 | 6,966 |
| 施設利用権 | 62 | 57 |
| その他 | 130 | 98 |
| 無形固定資産合計 | 7,159 | 7,123 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,504 | 12,800 |
| 保険積立金 | 804 | 829 |
| 繰延税金資産 | 249 | 38 |
| その他 | 263 | 229 |
| 投資その他の資産合計 | 13,821 | 13,896 |
| 固定資産合計 | 129,231 | 127,082 |
| 資産合計 | 139,997 | 137,946 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 63 | 96 |
| 短期借入金 | 14,069 | 13,674 |
| 1年内償還予定の社債 | 2,680 | 574 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,965 | 7,279 |
| 未払金 | 1,464 | 1,294 |
| 未払消費税等 | 493 | 174 |
| 未払法人税等 | 1,291 | 696 |
| 賞与引当金 | 92 | 23 |
| 災害損失引当金 | 50 | - |
| その他 | 2,449 | 2,971 |
| 流動負債合計 | 28,618 | 26,785 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 870 | 2,436 |
| 長期借入金 | 35,204 | 30,942 |
| 長期預り保証金 | 10,360 | 9,899 |
| 退職給付引当金 | 254 | 284 |
| 役員退職慰労引当金 | 253 | 268 |
| 環境対策引当金 | 58 | 58 |
| 資産除去債務 | 261 | 261 |
| 繰延税金負債 | 397 | 1,116 |
| その他 | 192 | 200 |
| 固定負債合計 | 47,852 | 45,467 |
| 負債合計 | 76,471 | 72,253 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,768 | 11,768 |
| 資本剰余金 | 10,082 | 10,082 |
| 利益剰余金 | 45,926 | 46,412 |
| 自己株式 | 5,203 | 5,283 |
| 株主資本合計 | 62,574 | 62,979 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 497 | 2,272 |
| 繰延ヘッジ損益 | 31 | 58 |
| その他の包括利益累計額合計 | 465 | 2,213 |
| 少数株主持分 | 485 | 499 |
| 純資産合計 | 63,526 | 65,692 |
| 負債純資産合計 | 139,997 | 137,946 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 16,576 | 16,055 |
| 売上原価 | 9,771 | 9,697 |
| 売上総利益 | 6,805 | 6,357 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,958 | 1,622 |
| 営業利益 | 4,846 | 4,734 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 5 |
| 受取配当金 | 152 | 174 |
| 持分法による投資利益 | 11 | 0 |
| その他 | 93 | 96 |
| 営業外収益合計 | 265 | 277 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 850 | 763 |
| その他 | 80 | 103 |
| 営業外費用合計 | 930 | 867 |
| 経常利益 | 4,180 | 4,144 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 2 | - |
| 特別利益合計 | 7 | 0 |
| 特別損失 | | |
| たな卸資産評価損 | 50 | - |
| たな卸資産廃棄損 | 13 | - |
| 減損損失 | 238 | - |
| 固定資産除却損 | 5 | 260 |
| 投資有価証券評価損 | 502 | 888 |
| 投資有価証券売却損 | 34 | - |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 261 | - |
| 環境対策引当金繰入額 | 58 | - |
| 特別損失合計 | 1,165 | 1,149 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,022 | 2,995 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 628 | 1,292 |
| 法人税等調整額 | 648 | 95 |
| 法人税等合計 | 1,276 | 1,388 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,745 | 1,607 |
| 少数株主利益 | 30 | 13 |
| 四半期純利益 | 1,714 | 1,593 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,745 | 1,607 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 843 | 1,774 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7 | 26 |
| その他の包括利益合計 | 851 | 1,747 |
| 四半期包括利益 | 2,596 | 3,354 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,565 | 3,341 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 30 | 13 |

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | |
|---|--|
| 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 | |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び投資その他の資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 2,594百万円 | 2,557百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 493 | 4 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |
| 平成22年11月9日 取締役会 | 普通株式 | 554 | 4.5 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月10日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 554 | 4.5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月29日 | 利益剰余金 |
| 平成23年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 553 | 4.5 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月9日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|---------------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産事業 | リネンサプライ 及びブランド リー事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,465 | 1,211 | 14,677 | 1,898 | 16,576 | | 16,576 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 748 | 41 | 789 | 101 | 890 | 890 | |
| 計 | 14,213 | 1,253 | 15,467 | 2,000 | 17,467 | 890 | 16,576 |
| セグメント利益 又は損失() | 5,098 | 108 | 5,206 | 371 | 4,835 | 10 | 4,846 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額10百万円には、セグメント間取引消去5百万円、減価償却の調整額5百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントの遊休資産について、時価の著しい下落により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては238百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|---------------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産事業 | リネンサプライ 及びブランド リー事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,101 | 1,074 | 14,176 | 1,878 | 16,055 | | 16,055 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 715 | 39 | 755 | 103 | 858 | 858 | |
| 計 | 13,817 | 1,114 | 14,931 | 1,981 | 16,913 | 858 | 16,055 |
| セグメント利益 又は損失() | 4,801 | 45 | 4,846 | 120 | 4,725 | 9 | 4,734 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額9百万円には、セグメント間取引消去4百万円、減価償却の調整額5百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 13.91 | 12.94 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 1,714 | 1,593 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 1,714 | 1,593 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 123,297,395 | 123,127,694 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成23年11月8日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり第46期の中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額 553百万円

1株当たりの中間配当金 4.5円

支払請求権の効力発生日並びに支払開始日 平成23年12月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月7日

株式会社テーオーシー
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 御子柴 顯

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡野 良彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テーオーシーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テーオーシー及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。